

平成30年度進捗評価シート
湯浅町歴史的風致維持向上計画(平成28年3月26日認定)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 良好な景観の形成に関する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	3
2 重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業	4
3 大仙堀環境整備事業	5
4 熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業	6
5 案内板等整備事業	7
6 防災施設整備事業	8
7 湯浅駅周辺整備事業	9
8 文化財等調査事業	10
9 空き家利活用事業	11
10 文化財公開等普及啓発事業	12
11 伝統行事等継承支援事業	13
12 特産物等PR総合支援事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用の普及啓発	15
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 湯浅の美味いっぱい 特産品販売 観光拠点オープン 時が育てる一滴 和食の要 御所車 80年ぶり町巡る 「近畿歴史まちづくりサミットin湯浅」開催 認定市町が湯浅に集い勉強会 歴史まちづくりサミットin湯浅	16
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 「SAVOR JAPAN(農泊 食文化海外発信地域)」認定	17

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 18

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度
歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

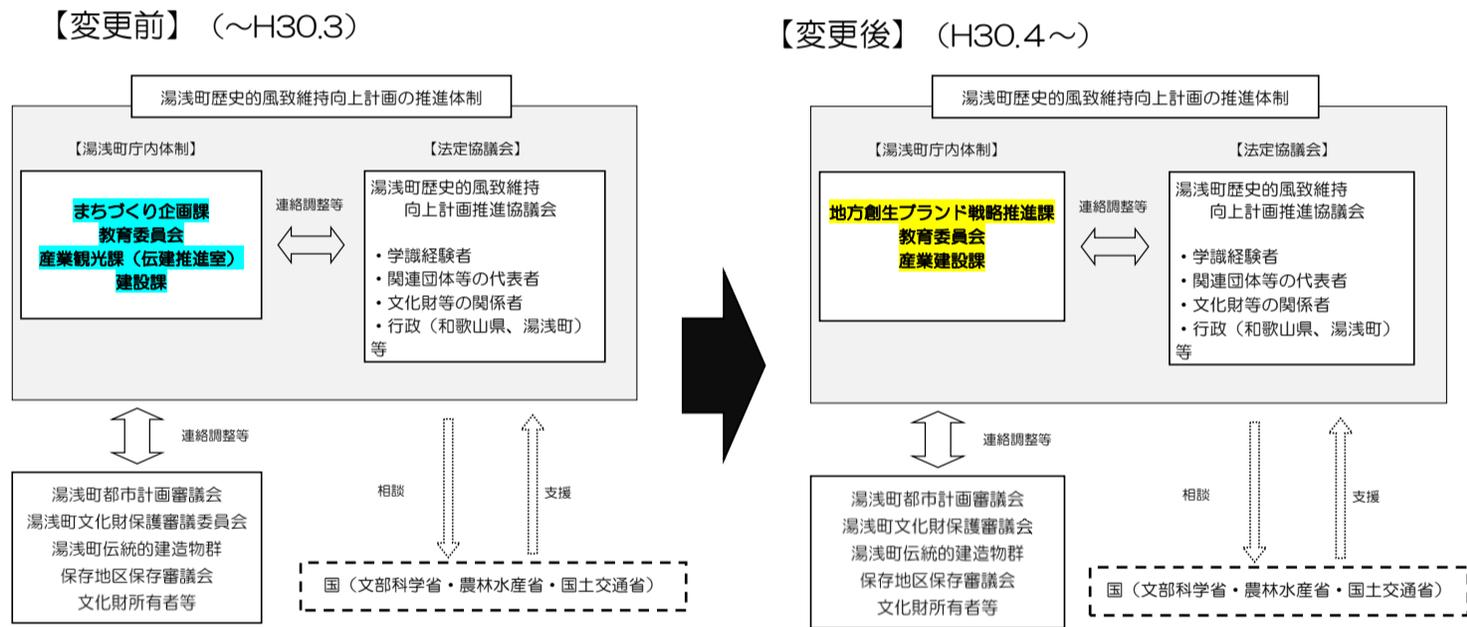
計画に記載している内容
 本計画の実現、推進に向けて、地方創生ブランド戦略推進課、教育委員会及び産業建設課が中心となり、国、県等関係機関との協議を行うとともに適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置した推進協議会は、計画の実施に関する連絡・調整を行う。なお、必要に応じて、湯浅町都市計画審議会や湯浅町文化財保護審議会、湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会、文化財所有者等と連絡調整を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度の機構改革に伴い、地方創生ブランド戦略推進課(企画・観光・歴史まちづくり等)、教育委員会(文化財保護等)、産業建設課(都市計画・道路等)による推進体制となり、より庁内連携が取りやすい体制となった。法定協議会である「湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会」を2月12日に開催し、計画の進行管理・評価について意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
 推進体制の変更(町機構改革に伴う)



湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会 会議(H31. 2. 12)の様子



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
良好な景観の形成に関する施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 [都市計画法]本計画における重点区域は、一部を除き都市計画区域に含まれており、都市計画マスタープランにおいて、豊かな自然・歴史的資源を取り入れたまちづくりを推進する旨定めている。都市計画区域に指定されていない周辺地域においても、中心市街地等と一体的な整備や地域間の連携を強化することで課題に対応し、バランスのとれた整備を進めることとする。
 [景観法]本歴史的風致維持向上計画の内容を反映した景観計画の策定等を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

良好な景観の形成に資するものとして、上位計画である湯浅町長期総合計画や有田圏域都市計画区域マスタープラン(和歌山県策定)に則し、関連計画である歴史的風致維持向上計画との整合性を図るべく、平成29年度に湯浅町都市計画マスタープランを改訂した。湯浅町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和元年度の計画最終年度に向けて内容の見直しを進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
 湯浅町まち・ひと・しごと創生推進会議



湯浅町都市計画マスタープラン



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物に特定している歴史的建造物の保存修理とその他の建築物の修景による整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修復や修理を実施することにより、適切な保存を図ることができた。

□平成30年度の実績

重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 ・建築物の修理に対する補助 4件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

重要伝統的建造物群保存地区内における修理・修景に対する補助



痕跡調査



外壁下地の状況確認



瓦の葺替え



板壁の取替え・塗装

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(公開活用)、地方創生推進交付金

計画に記載している内容 歴史的風致を活かしたまちづくりの拠点施設として必要な歴史的建造物を保存・整備し、重要伝統的建造物群保存地区の公開活用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定管理者制度を活用し、昔ながらの生活様式を体験できる甚風呂及び観光客の散策拠点となる湯浅まちなみ交流館を公開活用することにより、歴史文化への理解を深めるとともに観光客数の満足度向上につながった。また、平成29年度に公有化した旧栖原家住宅は、平成30年度より伝統的建造物群基盤強化事業と地方創生推進交付金によって建物の保存修理および公開に向けた整備工事を開始し、伝建地区の新たな拠点施設としての活用を検討している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
指定管理者制度を活用して公開活用を行った施設



歴史民俗資料館甚風呂



湯浅まちなみ交流館

新たな拠点施設として今年度から整備を進める旧栖原家住宅



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
大仙堀環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独、未来法連携型地方創生推進交付金

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の象徴である大仙堀の保存と水辺環境の整備を行い、住環境整備と観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大仙堀への生活排水の流入を防ぎ水質悪化を軽減させるための排水流路改修の検討を進め、一般社団法人湯浅観光まちづくり推進機構と連携して、改修後の整備活用方法検討のたたき台としてのプラン作成を行った。(プラン作成に関する業務は繰越事業となり継続して事業中)継続して、実施設計、工事へと進める予定。本事業により、大仙堀の水質悪化を防ぎ、あわせて美化を行うことにより環境が格段に向上することが見込まれる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等
大仙堀の現況写真



大仙堀周辺の排水流路



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～、平成14年度～		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の街路について、良好な市街地環境の保全整備と来訪者の周遊性を高めるために、復元、再生、町並みとの調和、歩行者の利便性など整備手法を十分検証し、美装化を進める。 重要伝統的建造物群保存地区とその周辺や熊野古道において、良好な市街地環境にふさわしい街路灯などを整備し、歴史的景観の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
熊野古道と重伝建地区周辺の道路等において、具体の整備イメージ(案)について検討を行った。平成30年度までの取り組みは、次年度以降、継続して検討や協議を進め、計画的な道路美装化及び街路灯整備に繋げていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
検討した道路整備イメージ(案)			
			
【現況】		【整備案1】	
			
【整備案2】		【整備案3】	

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺における案内板や主要な文化財などの説明板の多言語化・統一デザインを検討し設置するほか、来訪者の周遊性と利便性の向上のため必要な場所には、オープンスペースを活用した広場、駐車場、トイレなど、周遊性向上のための施設の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国土交通省所管補助事業「歴史的風致活用国際観光支援事業」を活用し、多言語対応の観光案内板や文化財説明看板を作成、設置した。次年度においても、重点区域内の拠点施設を中心に多言語対応の案内板を設置していく計画であり、様々な来訪者の受け入れ機能強化に繋がっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

国道42号線沿いに設置した観光案内板



文化財説明看板



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
防災施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(防災施設等)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、初期消火活動等に有効となる歴史的景観に配慮した防災設備を検討し、設置を進めるとともに、地域住民による防災訓練に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

住民の自主防災組織による防災(消火)訓練は継続して実施されている。平成30年度は、北浜町区において耐震性防火水槽(40トン)を設置した。北浜町区の防火水槽設置により、消火用水源が確保しづらい市街地中央部における水源となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

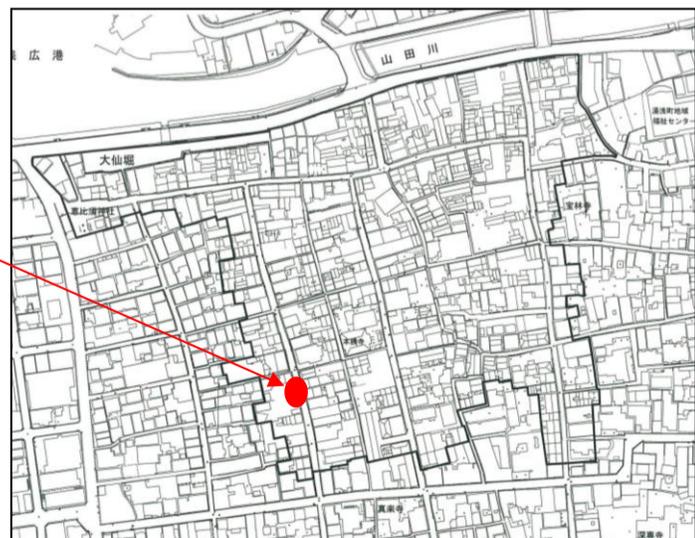
防犯対策については、個別の文化財における防犯上の課題を明らかにしながら対策を講じていくこととする。

状況を示す写真や資料等

自主防災組織による防災(消火)訓練(H31. 2. 3実施)



北浜町に設置した耐震性防火水槽(40トン)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
湯浅駅周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、社会資本総合整備交付金事業(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 昭和2年(1927)開業当時の駅舎の文化財指定等による保存・整備をはじめ、町の玄関口である湯浅駅とその周辺において、歴史的な魅力の発信や観光客受入機能の強化を目的とした総合的な駅周辺整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

駅構内のバリアフリーとともに、図書館やまちおこしセンターなどの賑わいを創出する機能と災害時の避難場所など防災機能を兼ね備えた複合施設建設の実設計が完了し、平成30年10月から工事着手している。工事の完成は令和2年(2020年)3月末の予定。整備により、鉄道利用者の窓口として、また町内の南側の拠点施設として、町の賑わいや観光客の受入機能の強化に資することが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
駅前複合施設の完成イメージ



11月22日に行われた起工式の様子



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財等調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 町単独事業、埋蔵文化財発掘調査等事業、文化遺産総合活用推進事業

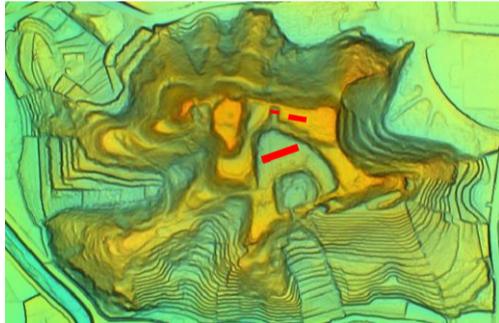
計画に記載している内容 町内にある建造物、史跡、民俗文化財などの文化財の調査を実施し、学術的価値を確認すると共に、未指定文化財の指定等や、既指定等文化財の上位指定を進める。また、醍醐寺金堂の湯浅での所在地の研究や、歴史資源のリストアップとアーカイブ化を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度より近隣市町との連携で進めている湯浅氏関連中世城郭調査の一環として、湯浅城跡の発掘調査を実施し、中世に遡る遺構・遺物の検出ができた。ほか、加納家(角長)をはじめとする醸造関連の重要建造物について、建造物としての価値を確認する調査を実施、また、歴史文化基本構想策定作業の中で、旧栖原家所蔵の民俗資料等について調査・整理に着手した。様々な調査事業は、歴史まちづくりを進める上での重要な資料となり得る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	次年度より文化財保存活用地域計画の策定を進め、その中で継続して町内の文化財把握調査を進める。

状況を示す写真や資料等
湯浅城跡発掘調査



発掘トレンチ位置図



発掘調査の様子
(第1トレンチ東側)



中世城郭調査指導委員会による検討



湯浅町内重要建造物調査
加納家(角長)現地調査の様子



醸造関係民俗資料調査
(旧栖原家旧蔵資料群)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
空き家利活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業、文化財建造物等を活用した地域活性化事業

計画に記載している内容 重点区域を中心とする町内の空き家において、まちづくりと連携した様々な活用提案の支援を行う。また、UIターン移住の希望者や農業・漁業の新規就労者の住まいなど、定住促進のための利活用の促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和歌山県のヘリテージマネージャー養成講習会の演習として、伝建地区内で活用希望のある空家の改修方法の検討を所有者を交えて実施し、所有者の空き家活用への理解と、設計士等の技術者の新たな湯浅での活動の契機とした。また、平成29年度に協定を結んだ一般社団法人ノオト・株式会社紀陽銀行との連携として古民家活用セミナーを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

活用希望の空家を舞台としたヘリテージマネージャーの養成講習会



模型を作成した改修案の発表



現地状況の説明の様子

湯浅町古民家活用セミナー
(10月5日開催 参加者数:33名)



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財公開等普及啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 本町固有の歴史的風致に関する文化財の公開・展示や講演会、ワークショップ、見学会の開催、パンフレット等の作成など、さまざまな形での情報発信や普及啓発のための取組みを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町民歴史講座として、地元郷土史家の垣内氏(前湯浅町教育委員会教育長)による「平成の終わりに～明治からの歴史と湯浅～」と、湯浅城跡発掘調査を受けた「湯浅城跡発掘調査報告会」を開催した。また、湯浅城跡発掘調査では、現地説明会を実施し、広く町民に周知した。特に平成30年度においては、湯浅町として初めての発掘調査といえる湯浅城跡の調査について、その成果を町内外にアピールすることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
町民歴史講座の開催



「平成の終わりに～明治からの歴史と湯浅～」
H31. 2. 14



「湯浅城跡発掘調査報告会」
H31. 2. 21

湯浅城跡発掘調査現地説明会
(H31. 2. 16)



評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
伝統行事等継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 町内各所にある社寺等で継承されている祭礼などの伝統行事や民俗 芸能、町内に伝わる風習や食文化など、幅広い伝統文化を継承するための記録・用具等整備・後継者育成・情報発信など総合的な支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統行事等を継承するため、町内で行われた秋祭りについて、町広報誌に掲載し、情報発信に努めたほか、古くから伝わるシロウオ漁を継承していくため、紀州湯浅のシロウオまつりを開催した。平成29年度に修復した顯國神社御所車は、今年度の秋祭りにおいて渡御行列に加わり、見物客の増加に貢献した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
秋の祭礼



広報ゆあさ10月号での三面獅子特集記事



昨年度修復した御所車の顯國神社秋祭りへの参加

紀州湯浅のシロウオまつりの様子
(H31. 3. 17)



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
特産物等PR総合支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成14年度～

支援事業名 地方創生推進交付金事業、日本遺産魅力発信推進事業、地方創生拠点整備交付金事業

計画に記載している内容 醤油・金山寺味噌、シラスをはじめとする水産物、柑橘類などのPRや情報発信において、歴史的価値付けをプラスし、地域ブランドの確立を目指してPR等を推進する。同じく、特産物を生産する歴史的環境保全のため、湯浅湾とその周辺に広がる段々畑の歴史的景観の保全整備等に努め、担い手育成など生産事業者に対する支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

特産物流通物販センターは「湯浅美味いもん蔵」として、地元産品の土産物販売所と、地元の素材にこだわった食事処として運用している。また、12月18日に大阪、1月16日に東京で「ゆあさ地方創生観光まちづくりセミナー」を、12月18日の大阪では「湯浅「美味しい日本遺産」まるごと体験シンポジウム」を開催し、全国に向けて醤油や味噌、みかん、しらす等海産物といった特産品をPRした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

湯浅町特産物流通物販センター「湯浅美味いもん蔵」



大阪・東京でのPRイベント



12月18日 グランフロント大阪
 「ゆあさ地方創生観光まちづくりセミナー」
 「湯浅「美味しい日本遺産」まるごと体験シンポジウム」



1月16日 よみうり大手町小ホール
 「ゆあさ地方創生観光まちづくりセミナー」

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 甚風呂をはじめとした拠点となる施設、場所においては、町民や来訪者の学習、文化、憩い、観光レクリエーションなどにつなげていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

湯浅伝建地区保存協議会により下記の取組が行われた。
 ○甚風呂の公開 ・観光客を中心に大変好評を得ている甚風呂を町の指定管理制度を用いて公開した。
 ○まちなみ瓦版の発行 ・保存協議会の取組みを掲載したまちなみ瓦版を制作し伝建地区内各戸に配付した。
 ○まちなみ勉強会の実施 ・伝建地区の制度や湯浅の伝建地区の特徴を学びなおすことを通じて、伝建地区の保存と活用に関する意識や関心の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

湯浅伝建地区保存協議会が発行したまちなみ瓦版

甚風呂の活用



まちなみ勉強会



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
湯浅の美味いっぱい 特産品販売 観光拠点オープン	平成30年4月28日	朝日新聞
時が育てる一滴 和食の要 (あちこち聖地)	平成30年5月29日	夕刊 読売新聞
御所車 80年ぶり町巡る	平成30年10月22日	毎日新聞
「近畿歴史まちづくりサミットin湯浅」開催	平成30年12月1日	和歌山特報
認定市町が湯浅に集い勉強会 歴史まちづくりサミットin湯浅	平成30年12月21日	2・1 紀州

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

醤油醸造の発祥の地としての認知度が、日本遺産認定により高くなるにつれ、関連する取り組みについての関心も高まっている。また、11月24日には本町で「近畿歴史まちづくりサミットin湯浅」が開催され、歴史まちづくりに対する住民への意識向上も図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

5月29日(火) 夕刊読売新聞
「時が育てる一滴 和食の要」



「近畿歴史まちづくりサミット in 湯浅」



パネルディスカッションの様子



近畿歴史まちづくり都市の紹介パネル展示

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

「SAVOR JAPAN(農泊 食文化海外発信地域)」認定

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

湯浅の歴史ある醤油醸造と、豊富で良質な海産物などを使った、しらす丼や刺身・サバのあぶり等の海鮮料理といった食の魅力を海外に発信する地域として、農林水産省の「SAVOR JAPAN(農泊 食文化海外発信地域)」に認定され、推進団体である、県内唯一の地域版DMOである一般社団法人湯浅観光まちづくり推進機構が認定式に出席した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



認定式の様子(農林水産大臣より認定証が交付された)

「農泊 食文化海外発信地域」取組計画書(概要版)

食、農林水産業、地域資源

【海鮮料理と醤油】



【主な食材(醤油)】
大豆
小麦
塩

【しらす丼】



【主な食材】
しらす
青じそ
ネギ
米

【シロウオ料理】



【主な食材】
シロウオ
醤油
酢
米

【金山寺味噌】



【主な食材】
金山寺こうじ
野菜(瓜、なす、生姜等)
砂糖
塩
焼酎

【地域の食と関連性のある地域資源】



湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区(大仙堀)



醤油の製造技術



シロウオの四つ手網漁



湯浅湾

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	平成30年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称： 平成30年度 第1回 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会</p> <p>会議等の開催日時：平成31年2月12日(火) 15時30分～17時</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <p>◆拠点施設整備活用ということで、工事が始まっている旧栖原家住宅について、湯浅の魅力が伝えられるような活用方法を検討されたい。</p> <p>◆道路の整備、美装化を進めてほしい。観光客やお年寄りが危険な箇所もある。道路を削るだけでも違うのではないかと。排水も考慮した検討をお願いしたい。あわせて街路灯の色合いも考えてほしい。</p> <p>◆大仙堀の景観整備はどうか。石積の修理もお願いしたい。</p> <p>◆まちなみ瓦版(伝建地区内に配布されている伝建地区保存協議会の会報)を地区外などにも配布できないか。空き家対策とリンクして考えられるのではないかと。</p> <p>◆農業や産業(醤油や味噌)などのことへの取り組みは。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>◆旧栖原家の活用については、醤油醸造を中心に展示公開できる方策を検討中。既存の施設との重複がないようにしつつ、旧栖原家の特色を活かした内容を検討していく。</p> <p>◆昨年度実施したワークショップを踏まえて方針を検討中。危険箇所は応急措置が必要なので、都度対応していく。街路灯については総務広報課とも協議を進める。</p> <p>◆流れ込む排水が汚れの原因となっていることから、排水計画を検討中。景観にも考慮しながら進める。石積みの補修も含めて、どの事業で進めていくかも検討している。</p> <p>◆保存協議会の会報ということで、現在は地区内の配布としている。伝建制度が地区外にも浸透するよう、広報誌への掲載や会報の全戸配布などの方法を検討していく。</p> <p>◆産業に関する内容についても、関係課と連携しながら進めていき、担い手不足への対応方法なども掲載していけるよう進めていきたい。</p>	